事例No.	2814
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	埼玉県寄居町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

官民連携で構想50年の市街地活性化!
挑戦を歓迎するまち、よりいの新たなスタートライン

出典

令和５年度ふるさとづくり大賞事例集

ふるさとづくり大賞　地方自治体表彰



官民連携で構想50年の市街地活性化!
挑戦を歓迎するまち、よりいの新たなスタートライン

埼玉県寄居町（よりいまち）

DATA

事　例　名：寄居駅開業以来120年ぶりのリニューアル!
　　挑戦するまちの新たなスタートライン
所　在　地：埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180番1
連　絡　先：TEL 048-581-2121
　　FAX 048-581-5100
　　E-mail promotion@town.yorii.saitama.jp
ホームページ：https://www.town.yorii.saitama.jp/

取り組みの概要

新たな形での賑わいを創出するため、若い担い手や商工会等が試行錯誤しながら地域を活性化させるためのさまざまな取り組みを実施した。町でも全国の町村で初めて内閣総理大臣認定を受けた「寄居町中心市街地活性化基本計画」を5か年にわたり着実に推進した。それらの集大成として完成した寄居駅南口駅前拠点施設「Yotteco」と賑わい創出交流広場「YORIBA」は、寄居町の新たな顔、そしてまちなか回遊の拠点として、町民が集う場、来訪者を迎える場、交流する場、学習する場等に活用されており、新たな賑わいが生まれている。

評価された点

●さまざまなソフト事業の先に駅前周辺整備事業を完遂するなど、長期にわたる努力が実を結んでいる点を評価。
●地域のベテラン商業者、建築士、中小企業診断士、不動産、商工会、町などが一つのチームとして連携し複数の空き店舗を貸店舗化した点を評価。また、物件情報は、(株)まちづくり寄居に集約し、新規創業、新しい業種(音楽等)に携わる人や若い女性たちの参加につながっており、他地域の参考になる取り組みである。
●駅前に拠点施設と交流広場を設置し、民間や行政、商工会などが想いを共有しながら、各種施策の集約拠点として活用している点を評価。自主的なイベントが開催されるなど自主性、発展性に優れている。
●担い手の育成、若者の交流、子育て支援、空き店舗の活用、電子通貨などに取り組み、さまざまな側面で町の活性化に貢献している点を評価。

取り組みのプロセス

取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題
その取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ

・江戸時代から絹や木材の集積地として栄えてきたが、中心市街地の人口は昭和40年から一貫して減少。
・平成25年には唯一の大型店舗も閉店し、深刻な空洞化。

2016年5月～

(株)まちづくり寄居
・町、商工会、金融機関、地元事業者などから出資を受けたまちづくり会社。
・官民連携による各種ソフト事業を実施。

2018年3月～

中心市街地活性化基本計画認定
・全国の町村で初めて内閣総理大臣認定。
・計画期間5年。



2018年4月～

・テストマーケティングの場を提供し、チャレンジできる環境を整備。

・コロナ禍で苦戦した点もあったが、その経験が今に活かされている。

マルシェ・空き店舗ツアー等開催
・創業の場を提供。
・若い担い手を育成するとともに、多世代の交流を推進。



2020年～

・構想50年の悲願実現!

駅前周辺整備事業、始動!
・中央通り線の街路事業開始。







2023年～

寄居駅南口駅前拠点施設Yotteco
賑わい創出交流広場YORIBAオープン
・寄居駅南口のランドマーク。
・町を訪れた方が最初に立ち寄り、町の魅力に触れる機会を創出。



今後の展望

・「歩きたくなる・歩いてお得なまち」を目指す。
・市街地の賑わいを町全体へ波及させていく。

受賞者のコメント

寄居町では、官民一体で試行錯誤しながら中心市街地の賑わい創出に取り組み、新たな挑戦を生む土壌を育んできました。今回、新たに整備した寄居駅南口駅前拠点施設「Yotteco」賑わい創出交流広場「YORIBA」を活用したイベント開催等の自主性や発展性が評価されたことは、本町の目指してきた方向性が評価されたことと大変光栄に存じます。今回の受賞を弾みに、町内外の人が「寄居町ならば、自分のやりたいことを実現できる」と期待を持てるまちづくりを行うとともに、さらに力強く「新しい挑戦」を支援してまいります。

寄居町長　峯岸　克明